



第 79 号(平成 29 年 7 月 21 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 29 年中の山岳遭難発生状況(平成 29 年 1 月 1 日～7 月 9 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 29 年	120	24	4	64	48	140	19
平成 28 年	100	17	3	52	46	118	7
前年同期比	20	7	1	12	2	22	12
内)BC	22	1	1	9	16	27	10

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	15	12.5%	4		10	2	16
	後立山	28	23.3%	3	1	15	12	32
	その他	13	10.8%	2	2	6	3	13
	計	56	46.7%	9	3	32	17	61
中央アルプス	10	8.3%	3	1	6		10	
南アルプス	3	2.5%	1		2		3	
八ヶ岳連峰	12	10.0%	4		9	1	14	
その他の山岳	39	32.5%	7		15	30	52	
計	120		24	4	64	48	140	

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
7月6日	北穂高岳	65	男	滑落	負傷	北穂高岳から涸沢へ向けて南稜を下山中、つまづいて約10メートル滑落し、負傷

6日、北アルプス北穂高岳で、男性Aさん65歳が下山中に滑落して背中等を打ち軽傷を負う山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。

北穂高岳遭難現場付近の状況



7月9日	餓鬼岳	44	男	転倒	負傷	餓鬼岳から東沢岳に向けて縦走中、ガレ場で足を滑らせ転倒し、負傷
------	-----	----	---	----	----	---------------------------------

9日、北アルプス餓鬼岳で、男性Aさん44歳がガレ場で転倒して左足首捻挫等の軽傷を負う山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。

餓鬼岳遭難現場付近の状況



7月9日	焼岳	48	女	転倒	負傷	焼岳から上高地へ下山中、足首をくじいて転倒し、負傷
------	----	----	---	----	----	---------------------------

9日、北アルプス焼岳で、アメリカ人の女性Aさん48歳が下山中に転倒して右足首を骨折する山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。

焼岳遭難者の負傷状況

ローカットシューズは捻挫のリスクが高い



山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

7月2週は、3件の遭難が発生しましたがいずれも足元つまづきや、足首のトラブルに起因するものでした。上の写真は焼岳の遭難者の負傷状況と履いていたシューズです。最近トレイルランニングの普及により軽量の登山用シューズも販売されていますが、登山靴と比較すると、つま先や足首の保護の点では劣ります。日帰り登山でも自分の足をしっかり保護できる登山靴を選びましょう。登山用品店等で、専門知識のあるスタッフに、登る予定の山と自分の経験を伝え、用具についてアドバイスを受けて装備を整えるのも安全登山のコツの一つです。計画段階で、自分の装備に不備はないか、もう一度確認をしましょう。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝